

【情報公開文書】

2025年1月27日作成

Ver.4.0

研究課題名	新型コロナウイルス感染症の出現が本邦における他の感染症の入院診療およびアウトカムに与えた影響の検証
所属（診療科等）	長崎大学病院 感染制御教育センター
研究責任者	田代将人（副センター長）
研究機関	この研究は長崎大学病院 感染制御教育センター，総合診療科，および感染症内科で実施します。
研究期間	長崎大学病院長許可日～2026年3月31日
研究目的と意義	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行に伴う感染対策意識の向上により，他の感染症も減少している可能性があります。一方で，病院の受診をためらうことにより，感染症による予後が悪化している可能性もあります。本研究の目的は，DPC データ調査研究班の有する全国規模の大規模 DPC データベースを用い，COVID-19 の出現が他の感染症の入院診療およびアウトカムに与えた影響を明らかとし，本邦における感染症診療体制の改善に寄与する基礎データを構築することです。
研究内容	<p>●下記の①と②を満たす患者さんが対象となります</p> <p>① 主病名，入院契機病名あるいは併存症病名に，以下のいずれかの病名が登録された患者さん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ COVID-19 ・ 肺炎 ・ 尿路感染症 ・ 胆道系感染症 ・ 虫垂炎 ・ 髄膜炎 ・ 敗血症 <p>② 2015年1月1日から2020年9月30日の間に，DPC 調査研究班にデータを提供している全国の病院に入院した患者さん</p> <p>●利用する情報 患者属性，入院情報，病名，重症度評価，病院属性，処方病日および処方量，処置/検査実施病日 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法 本研究はコホート研究と呼ばれる種類の研究です。DPC データ調査研究班により DPC データベースから本研究に必要な情報のみを既に匿名化された</p>

	<p>状態で取り出したデータを研究責任者が提供を受け、解析を行います。本研究で用いるデータには新型コロナウイルス感染症の診療やアウトカムに直接関わる情報に加え、長期入院や感染対策を理由とした適切なリハビリテーション未実施による高齢者の生活自立度の低下も死亡に影響する可能性があるため、高齢者の生活自立度に関する情報およびリハビリテーションに関する情報も収集します。提供を受けたデータを用い、感染症による入院患者数の推移を調べ、様々な感染症の診療実態の変化を COVID-19 流行前後で比較します。死亡率が変化していた場合は、死亡率の変化に関与している因子を探索します。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>【研究担当者】 氏名：田代 将人（医師） 長崎大学病院 感染制御教育センター 住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7731 FAX 095（819）7766 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616 受付時間 : 月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>